

驕らず威張らず

岡松 三選の
新六車町長に聞く
聞き手 岡松 壮

岡松 三選の
新六車町長に聞く
聞き手 岡松 壮

岡松 三選の
新六車町長に聞く
聞き手 岡松 壮

強者で、患者は弱者でありま
す。しかし私は患者に対して
一度だつて威張ったことはあ
りません。患者には温情をも
つて接するということは医者
になるとき持つた信念であり
ます。教師と生徒の間も強者
と弱者の間柄にありますから、
この道理は先生にも通じます。
村長を永くやって、現在、
農協長をやっている先輩が、
去年こう話してくれました。
「私が村長をしていた時は遠
慮勝ちに平身低頭して話して
いたが、今、農協長をしてい
ると話し方もぞんざいになり、
横柄の態度さえ見えます。村
長が強者であることをひしひ
しと感じます」と私が思っ
てるとおりのこと話しました。

役場職員にも町民の方にも威
張ったことはありません。し
かし、それが通っていないか
つたり、道理に合わない時には
おらせてもらおう」と思っ

る村で私の留任運動をされた
そうです。それを後で聞いて
感激しました。今まで「まだ
おらせてもらおう」と思っ

いたのが逆に「おつてやう」
の立場になりました。私はど
う対処すればよいかを熟慮し
ました末、「恭・儉・讓」でい
こうと決め、これを書き方の
先生に書いてもらって座右の
銘としたことがあります。今
の町長さんのお気持は分りす
るほど分ります。町民の一
人として、有難いことに思っ
ています。

立候補のはがきに「対話か
らすばらしい仕事を生み出し
ていこう」とも書いてありま
したが、これも町政の根本態
度を示されたもので、町長の
謙虚さがあらわれています。

創意工夫
町長 早く対話の機会を作つて、
みなさんと膝つきあわせて、
じっくり話をしたいと思つて
新しい、珍らしいご意見を聞
いて、町民のために一生懸命
頑張ります。喜んでもらえる
ことができたなら、それは力
を添えて下さった町民のおか
げであります。

岡松 町長が「驕らず、威張らず」
で、町民と同じ高さで町発展
を語られ続けられたら、町民
もおのずから町長の心を心と
するようになり、町の発展は
間違いのないと思ひます。
お忙がしいところまことに
有難うございました。

以上

津奈木

発行所
津奈木公民館
津奈木郡津奈木町
電話(代表3111番)
編集 編集委員会
印刷所 旭印刷所
電話(水保)4101番

三選町長に、おごりや専断を
恐れていたかもしれまけん。
それを先取りして町民のもや
もやを素早く取除いてやられ
た洞察力と勇氣に感銘いたし
ております。

町長 私は町長だからといって、
私事で恐れ入りますが、あ

声高かにいつたり 叱つたり
はします。しかしそれは強者
が弱者に対する強圧ではなく、
あくまで一対一の話でありま
す。町民に對しましては強者
風は吹かせたことではないと思
います。

岡松 私事で恐れ入りますが、あ

生活改善はこうしよう

各部落での申し合わせ事項から(町中)

- 町中では、昭和五十六年三
月に部落集會を開いて、五十
五年度の反省と五十六年度の
目標について話し合いました。
- 一、結婚式の引き出物は自肅
しよう。
- 二、御祝儀は身近かな所は別
として、八千円以下とする。
- 三、葬式の花輪は二本(外部
から来るのは別)とする。
- 四、葬式の祭壇は門徒のもの
を使用する。
- 五、香典は一千円程度(親類
と特に親しい間柄は別)
- 六、病氣見舞はなるだけお金
でする(病氣見舞のお返し
はしない)
- 七、初盆は身内だけでして、
引き出物は出さない。
- 八、生活改善ということであ
れば、また集會開始、終了
の時間が守られていない様
だから、生活改善の項目に
取り入れてよいのではなか
ろうかという意見も出た。
- 最後に参考までに、菊池郡
七城町で申し合わせた事項の
新聞記事を読み上げ、部落民
の決意を促した。
- 七城町における
申し合わせ事項
- 婚礼 引き出物は廃止する。
婚礼の儀式は人生最大の犬
事。
- 葬儀、仏事
引き出物は廃止する。
(一)法事の包金は三千円程
度で会葬御礼は札状のみとする。
●その他 病氣見舞は千円程
度としお返しは廃止する。
- お祝金は五千円以内とし
親せきはこれの限りでない。
- 他の祝い事
引き出物は廃止する。
- (一)出産の祝金は千円程度と
する。
- (二)おひな祝、端午祝等の祝
金は二千円程度とする。後略。

婦人学級

親睦を深めながら
楽しい学習

津奈木校区婦人学級

5月22日から、毎月一回、
(年十回)、「婦人の日常生活
に役立つ相互学習を通して心
豊かな人づくりと教養の向上
をはかる」ことを学習課題と
して、婦人学級を開催しまし
た。



このくちなしは樹令何年か
見当がつかない。幼い記憶で
あるが、田圃の一面にきれい
な水の湧く井戸があり、この
井戸を渡って大きな樹のあつ
たのを覚えている。

道治いに、こんこんと湧く浅
井の水と、くちなしの緑陰と
は格好の旅人の憩いの場所と
なったことだろう。

上水道が出来た今でもこの
水は石木田の人の貴重な飲料
水である。このくちなしも大
事に残しておきたいものの一
つである。 小嶋正弘

あつと思つてももうおそい
とびだすな
せまい道から大きな道

寄贈御礼

この程六車町長から、成人
式の記念樹三本を含め、銀杏
十四本の御寄贈がありました。
さっそく運動公園の道路側
に植樹しましたが、これが大
きく成長した頃は、見事な銀杏
の並木路となることでしょう。
ここに厚く御礼申し上げます
と共に、町民皆で大事に育て
ようではありませんか。

名木紹介

(石木田のくちなし)



日焼けして、赤銅色の頼もしく
まこてエ、勉強しがいのあつたばい
日焼けして、惚れなおさん健康美
まこてエ、欲の深さが底知れん
日焼けして、水着の跡が又見事
まこてエ、鳩は案山子にアたまがらん
拙者
日焼けして、いんま彼氏が見違ゆる
まこてエ、見て来た如たる嘘云うて
一平
日焼けして、たったキスゴの二、三匹
まこてエ、横打向いて面憎くさ
双岳

短歌「入梅」 小嶋正弘
音もせで雨は降るらし闇の中
車灯煙雨の中に連なる
待ち待ちし水なき小田の梅雨入りに
雨衣甲斐甲斐し蛙塗る人は
干拓の提防はるか天草の空かがやかに
梅雨の入り陽は

あつと思つてももうおそい
とびだすな
せまい道から大きな道

芦北郡津奈木町 津奈木小五年 前田良一
(きょうの標語 熊日紙七月二日掲載記事から)

